

# 令和6年集落（自治区）の現状に関する 自治区長アンケート実施報告書

政策財政課 政策企画係

# 令和6年集落（自治区）に関するアンケート調査結果

## 1 集落アンケートの目的

本町における今後の地域づくりや集落支援施策をより充実させるため、各集落の現状や課題等を把握すること。

## 2 調査期間

令和6年5月1日～5月31日

## 3 調査方法

自治区長へアンケート調査票を配布し、WEB回答又は郵送回収

※WEB回答はGoogleフォームを利用

## 4 配布物

- ・依頼文
- ・調査票
- ・返信用封筒
- ・大学生と集落の協働による地域活性化事業に関する資料（調査票 問6 参考資料）

## 5 調査結果

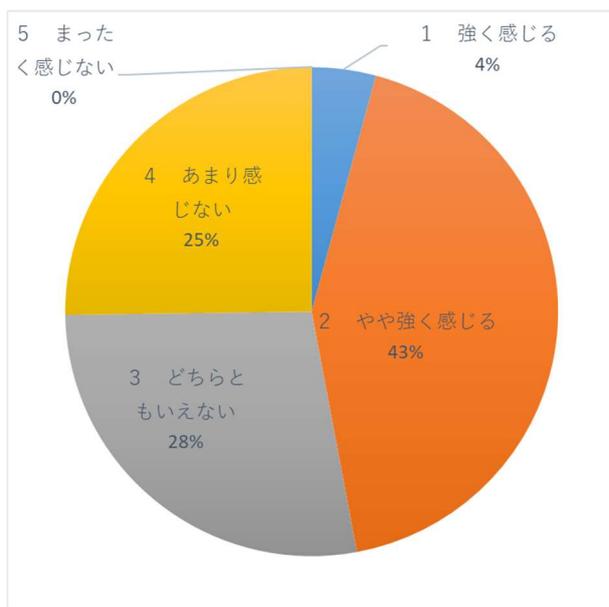
- ・配布件数 158件
- ・有効回答数 120件
- ・回収率 75.9%

## 問1 貴集落（自治区）では、以下の問題や現象について現在どのように感じていますか？

### ア. 住民生活（相互扶助・交流）に関すること

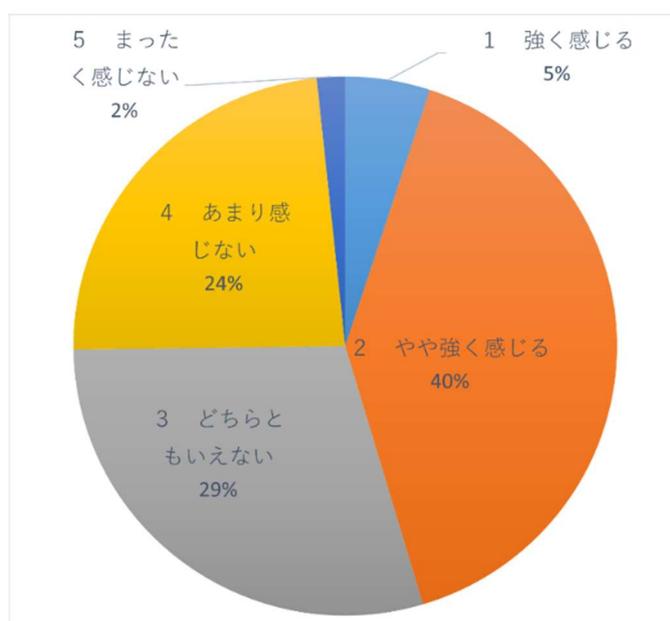
「以前に比べ、隣・近所での助け合い」が少ないと回答した割合は 47%、「災害時における助け合いが難しいと感じる」と回答した割合が 45%、「集落内での交流が少ないと感じる」と回答した割合が 67%となっており、集落内における住民同士の関わり合いが少なくなっていると感じる割合が高い。また、自治区長のなり手の少なさを感じる割合が 84%、青年会等の維持に難しさを感じる割合が 90%となっており、集落組織の維持について困難であると感じる割合が高いことがわかる。

#### 1. 以前に比べ、隣・近所での助け合いが少なくなっている 【回答数 119 人】



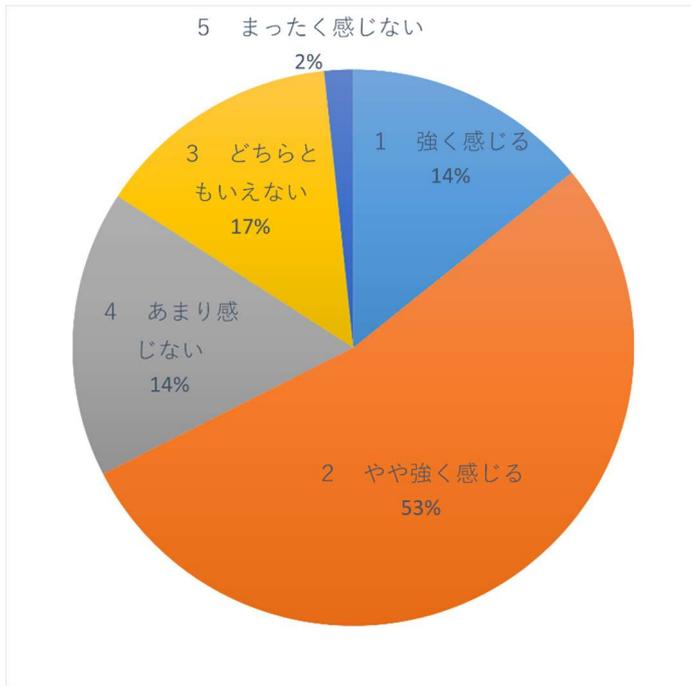
|             |      |
|-------------|------|
| 1 強く感じる     | 5 人  |
| 2 やや強く感じる   | 51 人 |
| 3 どちらともいえない | 33 人 |
| 4 あまり感じない   | 30 人 |
| 5 まったく感じない  | 0 人  |

#### 2. 災害時における助け合いが難しいと感じる 【回答数 119 人】



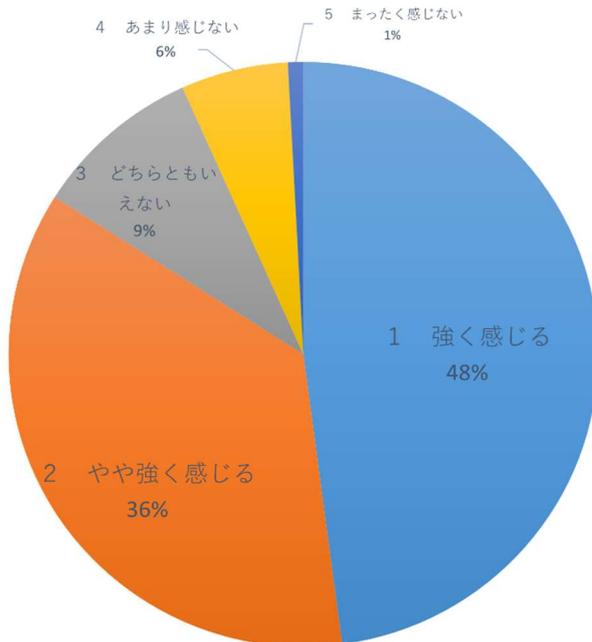
|             |      |
|-------------|------|
| 1 強く感じる     | 6 人  |
| 2 やや強く感じる   | 48 人 |
| 3 どちらともいえない | 35 人 |
| 4 あまり感じない   | 28 人 |
| 5 まったく感じない  | 2 人  |

3. 集落（自治区）内での交流が少なくなっている【回答数 120人】



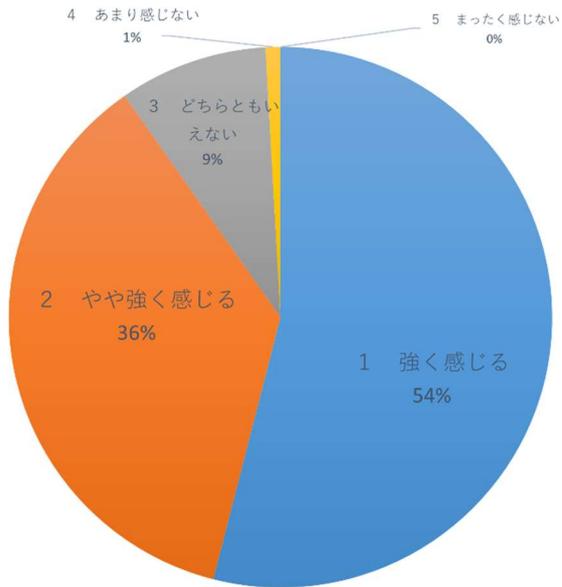
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 17人 |
| 2 やや強く感じる   | 64人 |
| 3 どちらともいえない | 20人 |
| 4 あまり感じない   | 17人 |
| 5 まったく感じない  | 2人  |

4. 自治区長や地区役員等のなり手が少なくなっている【回答数 119人】



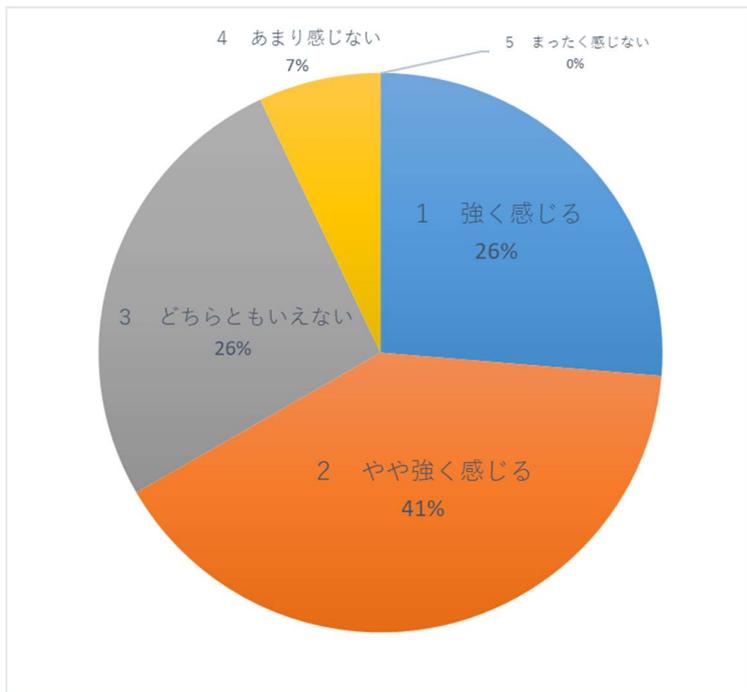
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 57人 |
| 2 やや強く感じる   | 43人 |
| 3 どちらともいえない | 11人 |
| 4 あまり感じない   | 7人  |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

5. 青年会・婦人会などの活動・維持が難しくなっている【回答数 113人】



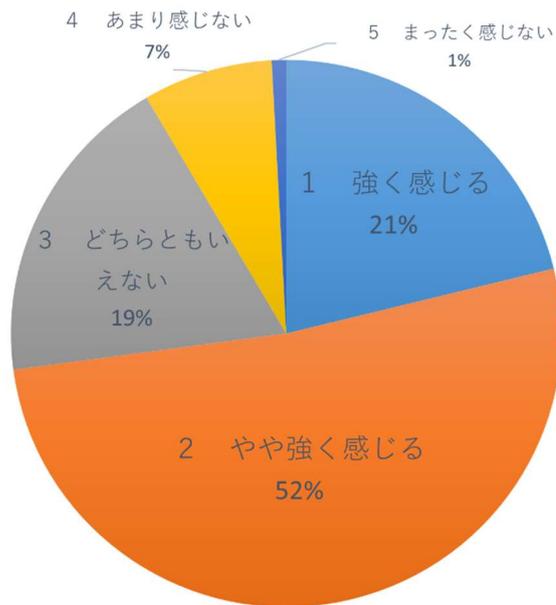
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 61人 |
| 2 やや強く感じる   | 41人 |
| 3 どちらともいえない | 10人 |
| 4 あまり感じない   | 1人  |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

6. 集会で若い人からなかなか意見が出ない【回答数 114人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 30人 |
| 2 やや強く感じる   | 46人 |
| 3 どちらともいえない | 30人 |
| 4 あまり感じない   | 8人  |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

7. 家族や地域では、高齢者の介護（見守り）が難しくなっている【回答数 118人】

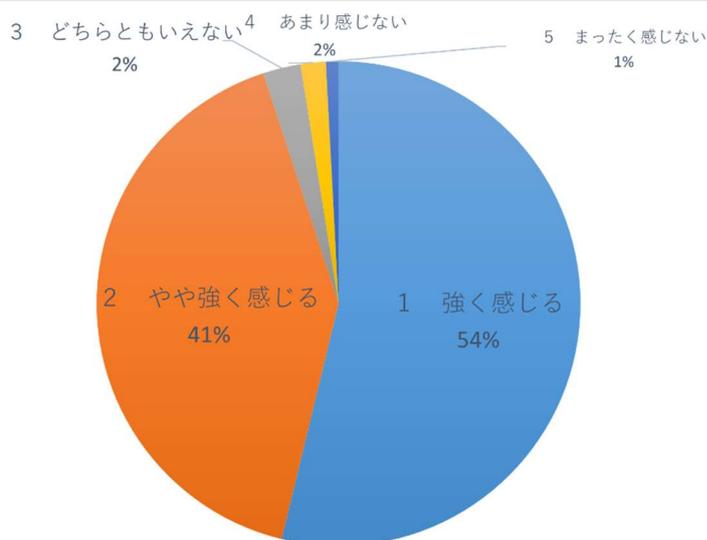


|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 25人 |
| 2 やや強く感じる   | 61人 |
| 3 どちらともいえない | 22人 |
| 4 あまり感じない   | 9人  |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

イ. 住民生活（その他）に関すること

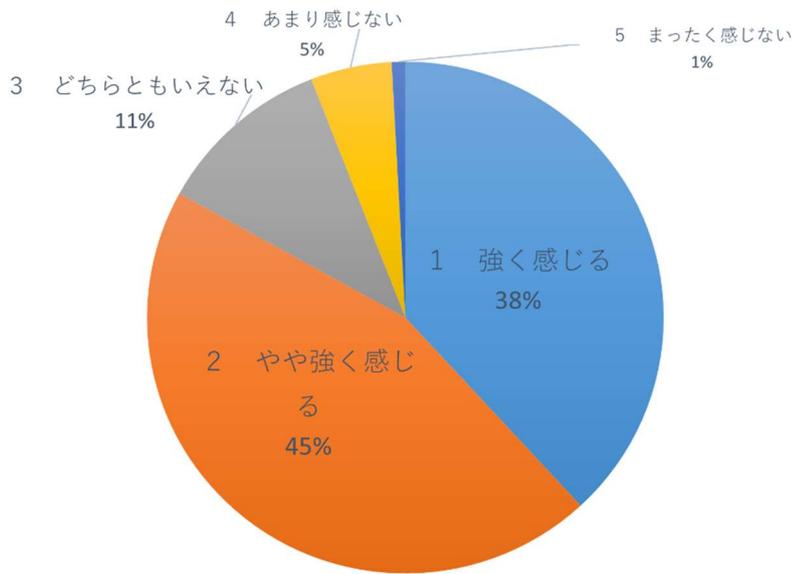
集落内において、「後継者がいない家が増えてきた」と感じる割合は95%と非常に高い。また、「一人暮らしの高齢者が増えてきた」と感じる割合が83%、「空き家が増えてきた」と感じる割合が77%といずれも高い割合である。これは、後継者がいない家の内情が、子どもが他地域に転居し、高齢の親の単身世帯が増えたこと、あるいは、単身で居住していた高齢者等が死亡し、空き家となった物件が増加していることが考えられる。

8. 後継者がいない家が増えてきた【回答数 119人】



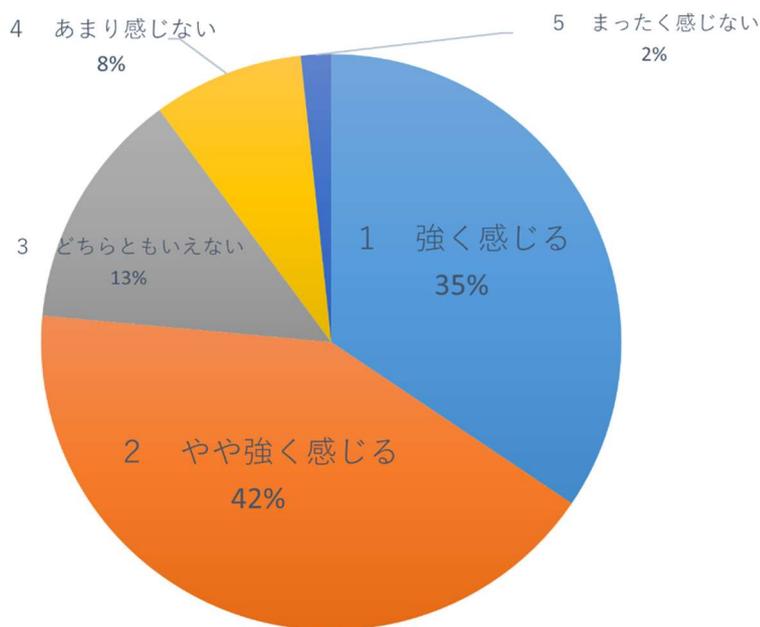
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 64人 |
| 2 やや強く感じる   | 49人 |
| 3 どちらともいえない | 3人  |
| 4 あまり感じない   | 2人  |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

9. 一人暮らしの高齢者が増えてきた 【回答数 118人】



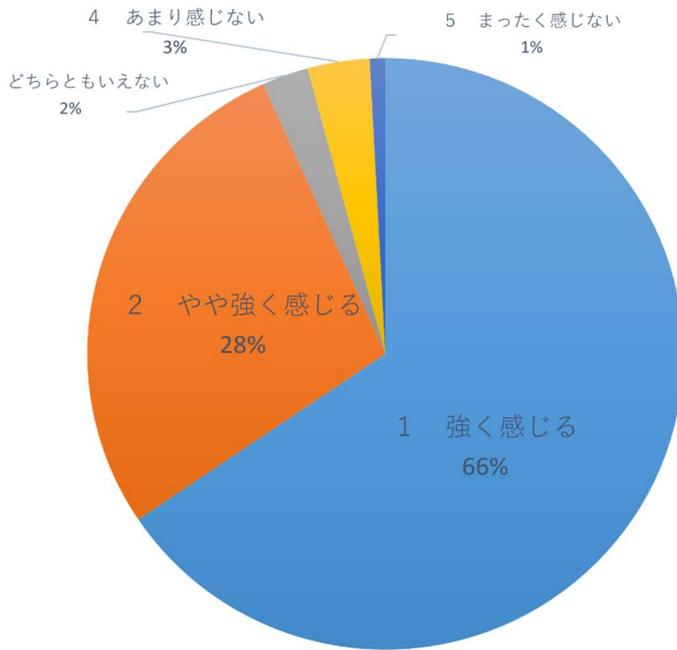
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 45人 |
| 2 やや強く感じる   | 53人 |
| 3 どちらともいえない | 13人 |
| 4 あまり感じない   | 6人  |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

10. 空き家が増えてきている 【回答数 119人】



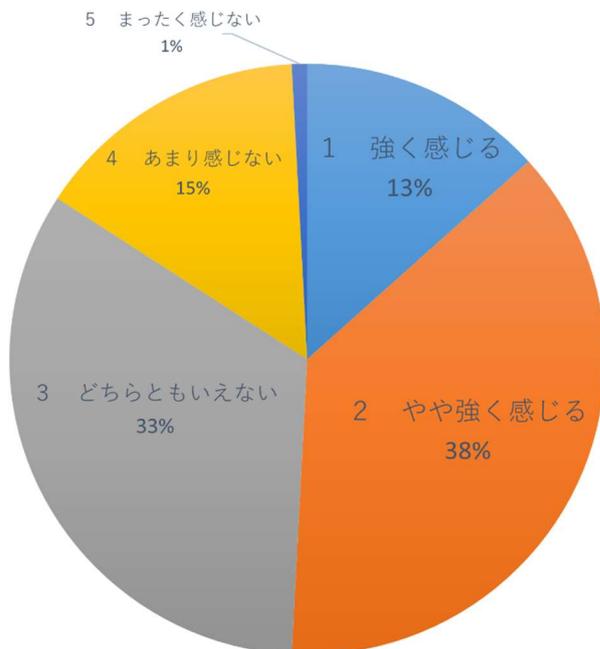
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 41人 |
| 2 やや強く感じる   | 50人 |
| 3 どちらともいえない | 16人 |
| 4 あまり感じない   | 10人 |
| 5 まったく感じない  | 2人  |

1 1. 子どもの人数が減少し、集団登校が困難になっている 【回答数 119 人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 78人 |
| 2 やや強く感じる   | 33人 |
| 3 どちらともいえない | 3人  |
| 4 あまり感じない   | 4人  |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

1 2. 買い物や通院が不便である 【回答数 120 人】

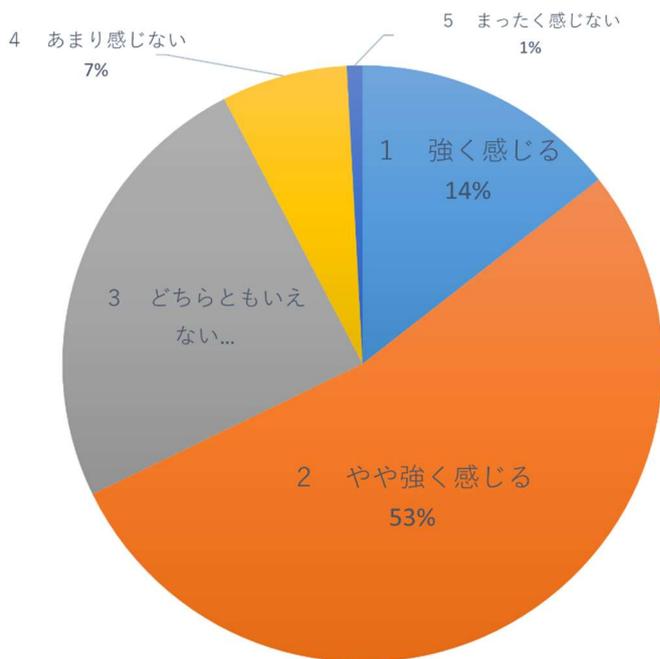


|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 16人 |
| 2 やや強く感じる   | 45人 |
| 3 どちらともいえない | 40人 |
| 4 あまり感じない   | 18人 |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

## ウ. 地域文化・景観に関すること

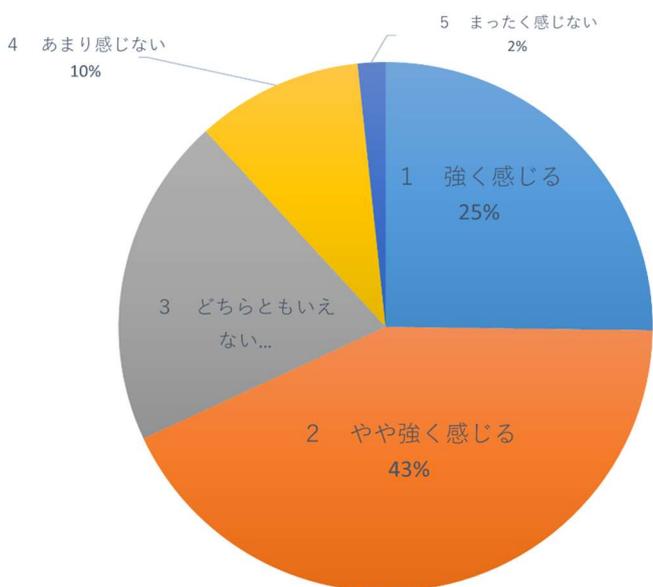
「集落の伝統や習慣に対する関心が薄れている」と感じる割合が67%となっている。集落内の伝統や習慣に対する関心が薄れていることが、後継者不足による伝統行事の実施が困難であると感じる割合を高め(68%)、地域の慣習や文化を通じた住民同士の交流の減少、集落内での文化・スポーツ等の活動が低調となっている要因であると考えられる。

### 1.3. 集落の伝統や習慣に対する関心が薄れている【回答数 118人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 17人 |
| 2 やや強く感じる   | 63人 |
| 3 どちらともいえない | 29人 |
| 4 あまり感じない   | 8人  |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

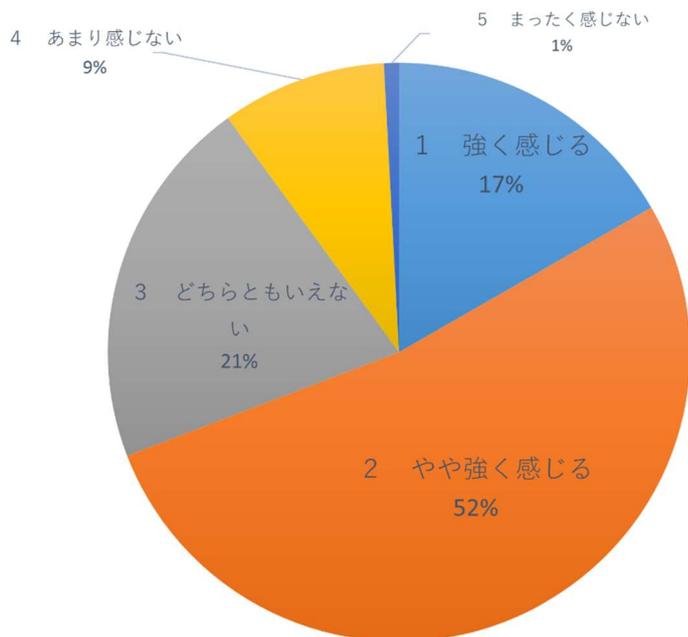
### 1.4. 後継者不足により伝統行事の実施が困難である【回答数 119人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 30人 |
| 2 やや強く感じる   | 51人 |
| 3 どちらともいえない | 24人 |
| 4 あまり感じない   | 12人 |
| 5 まったく感じない  | 2人  |

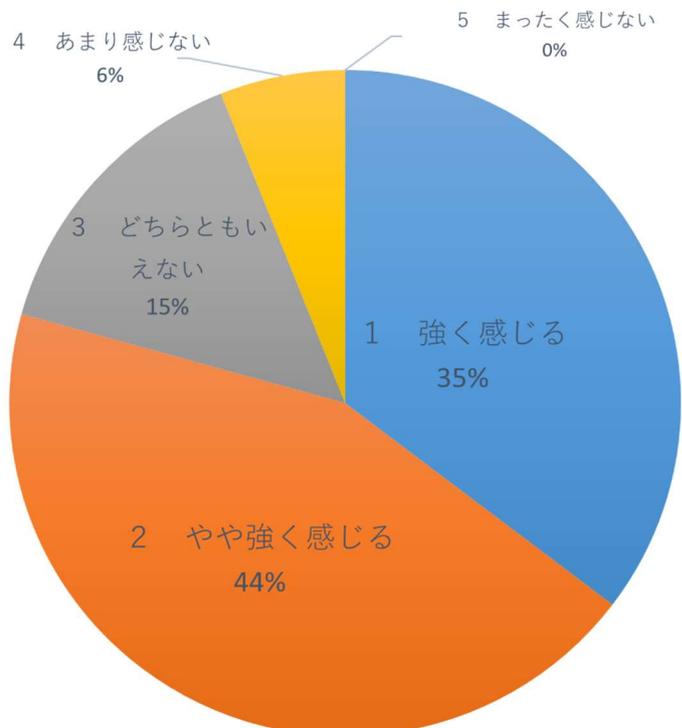
15. 地域の独自の慣習・文化を通じた住民同士の交流が少なくなっている

【回答数 120 人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 20人 |
| 2 やや強く感じる   | 63人 |
| 3 どちらともいえない | 25人 |
| 4 あまり感じない   | 11人 |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

16. 集落内での文化・スポーツなどの活動が低調である 【回答数 116 人】

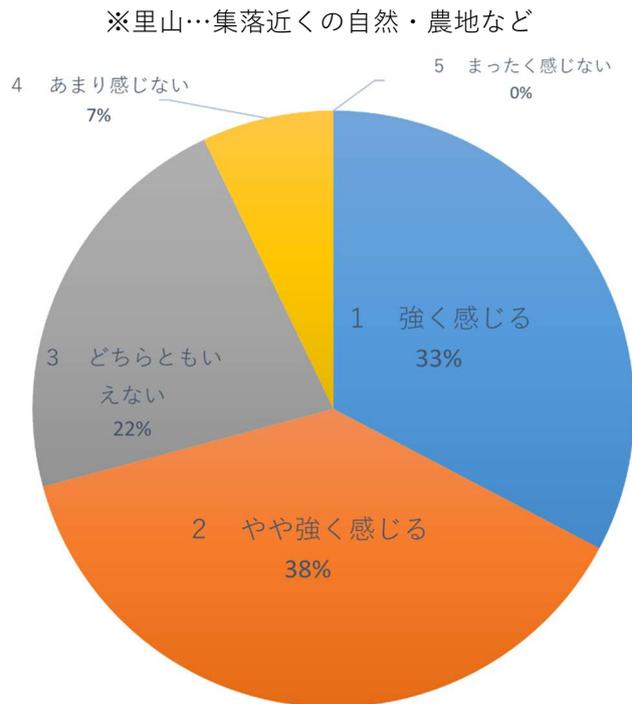


|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 41人 |
| 2 やや強く感じる   | 51人 |
| 3 どちらともいえない | 17人 |
| 4 あまり感じない   | 7人  |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

## エ. 自然環境に関すること

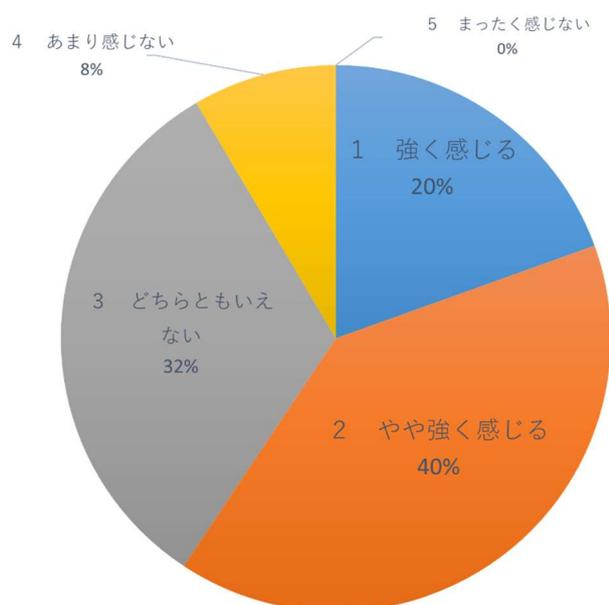
「森林や里山が荒れてきている」と感じる割合は71%となっている。これは町内の各集落には豊かな自然があり、それを地域の魅力と考えることができる一方で、若い世代を中心とする集落内の人口が減少したことにより、集落単位での里山の管理が困難となっていることを示している。これと同様に「雪への対応が難しくなっている」と感じる割合も60%であり、全体の半数以上となっている。

### 17. 森林や里山が荒れてきている 【回答数 113人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 37人 |
| 2 やや強く感じる   | 43人 |
| 3 どちらともいえない | 25人 |
| 4 あまり感じない   | 8人  |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

### 18. 雪への対応が難しくなっている 【回答数 118人】

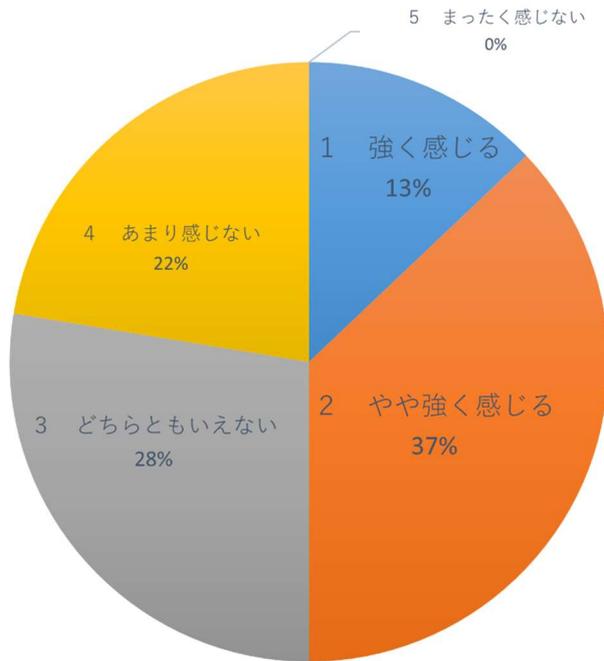


|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 23人 |
| 2 やや強く感じる   | 47人 |
| 3 どちらともいえない | 38人 |
| 4 あまり感じない   | 10人 |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

オ. 生活基盤・産業基盤に関すること

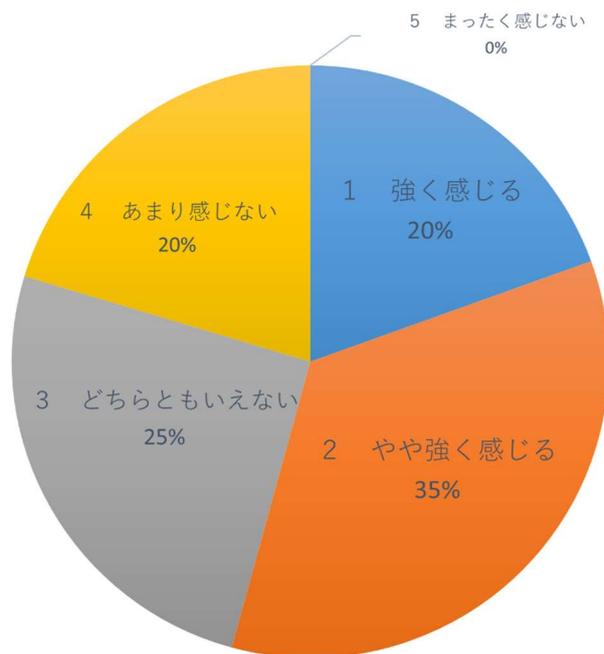
集落内にある集会所、水路、農道の維持管理が難しくなっていると感じる割合は、全体の約60%となっている。耕作放棄地が増加した感じる割合も70%と高くなっている。

19. 集会所など地域で管理している建物の維持が難しくなっている【回答 116 人】



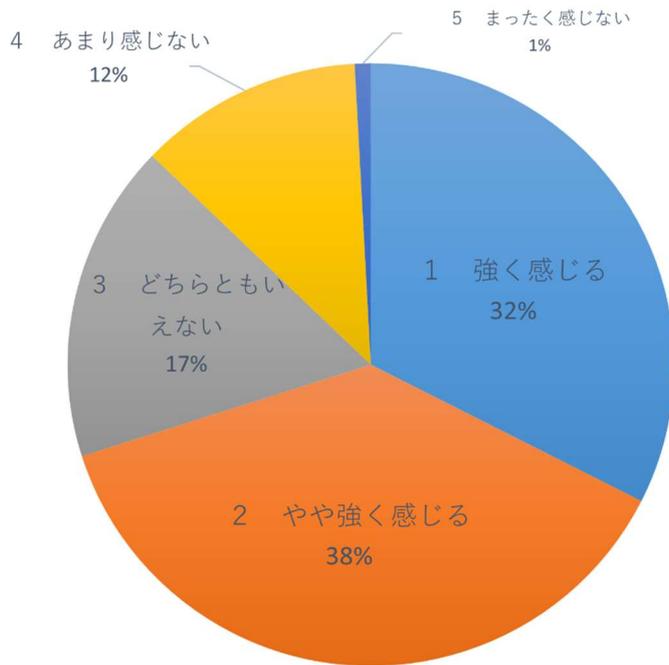
|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 15人 |
| 2 やや強く感じる   | 43人 |
| 3 どちらともいえない | 32人 |
| 4 あまり感じない   | 26人 |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

20. 水路や農道の維持が難しくなっている 【回答数 118 人】



|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 23人 |
| 2 やや強く感じる   | 41人 |
| 3 どちらともいえない | 30人 |
| 4 あまり感じない   | 24人 |
| 5 まったく感じない  | 0人  |

2 1. 耕作放棄地が増えてきている 【回答数 117 人】

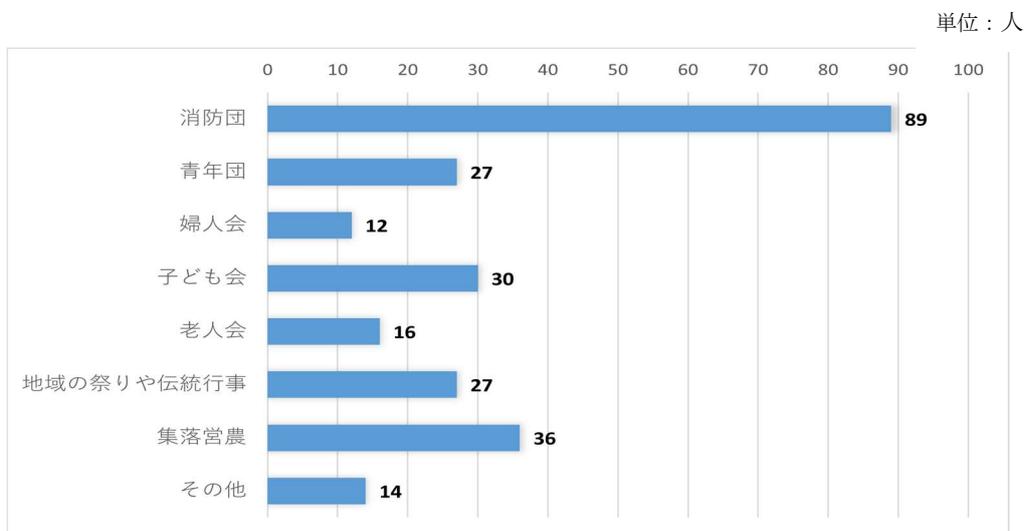


|             |     |
|-------------|-----|
| 1 強く感じる     | 38人 |
| 2 やや強く感じる   | 44人 |
| 3 どちらともいえない | 20人 |
| 4 あまり感じない   | 14人 |
| 5 まったく感じない  | 1人  |

問2 貴集落（自治区）内で現在活動（存在）している団体はありますか。下記のうち該当するものすべてに○を付けてください。 【回答数 110 人】

集落内における活動団体に消防団と回答した人数は、89人で最も多かった。一方、婦人会、老人会、地域の伝統行事等の、住民同士が自主的に交流、連携する活動団体を回答した人数は少なくなっている。

1. 消防団    2. 青年団（会）    3. 婦人会    4. 子ども会  
 5. 老人会    6. 地域の祭りや伝統行事等の運営組織  
 7. 集落営農や農地・山林等の保全管理等を目的とした団体    8. その他（                      ）



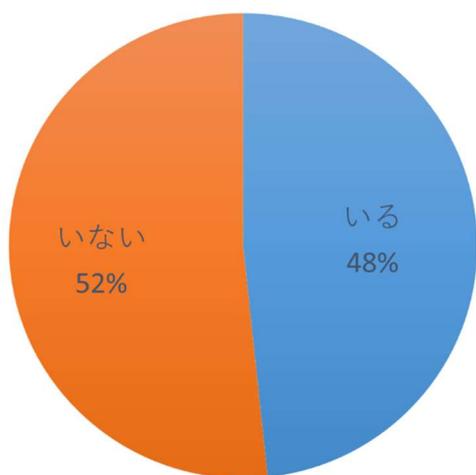
※その他の団体

- ・中山間組織、FDS、集いの場、左下観音保存会、農地水、田中地区環境保存会

問3 ここ5年程度のうち、貴集落（自治区）に他地域からの移住者（Uターン含む）はいましたか。【回答数 120人】

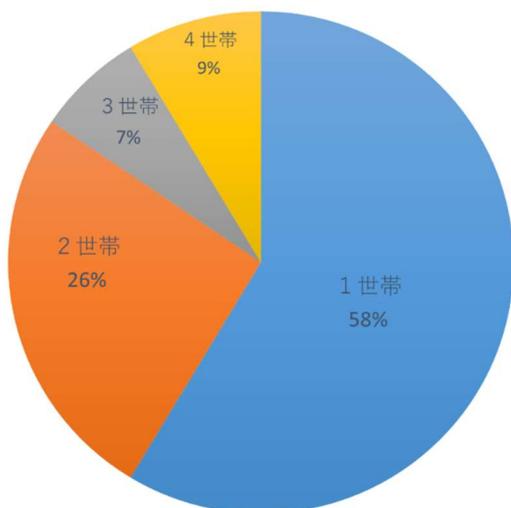
集落内において、直近5年程度の間には他地域からの移住があったと回答したのは58人で全体の48%となっている。そのうち、集落内に移住してきた移住者は、およそ7割が1世帯若しくは2世帯となっている。

1. いる \_\_\_\_\_世帯\_\_\_\_\_人（分かる範囲で結構です。）
2. いない



|       |     |
|-------|-----|
| 1 いる  | 58人 |
| 2 いない | 62人 |

集落内に移住者がいる場合の世帯数

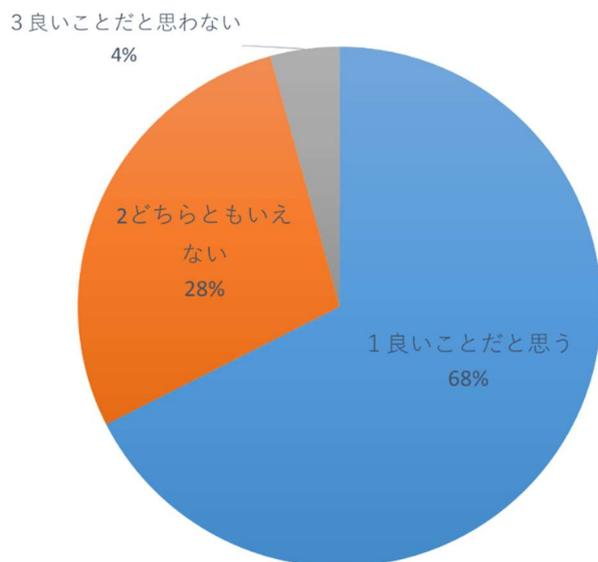


|     |     |
|-----|-----|
| 1世帯 | 34人 |
| 2世帯 | 15人 |
| 3世帯 | 4人  |
| 4世帯 | 5人  |

問4 貴集落にとって他地域の人が移住してくることは良いことだと思いますか。

【回答数 117人】

他地域から集落に移住してくることに、68%が「良いことだと思う」と回答している。一方、4%が「良いことだと思わない」と回答しており、主な理由には、他地域からの移住者に対する不安や不信感、移住者とのコミュニケーションの取り方や双方の価値観を理解することの難しさ等が挙げられている。



|   |            |     |
|---|------------|-----|
| 1 | 良いことだと思う   | 79人 |
| 2 | どちらともいえない  | 33人 |
| 3 | 良いことだと思わない | 5人  |

問4-1 問4で、「3. 良いことだと思わない」と回答された場合、その理由はなんですか。いずれかに○を付けてください。（回答数5人）

|  |    |
|--|----|
| 1. 他地域からの移住者に対して不安や不信感がある。                           | 1人 |
| 2. 移住者とのコミュニケーションの取り方が分からない。                         | 2人 |
| 3. 住民と移住者同士との価値観の違い等をお互いに理解することが難しい。                 | 1人 |
| 4. 移住者が来ることで、これまで集落に根付いているコミュニティや文化が変化することに対する不安がある。 | 0人 |
| 5. その他（悪質な人、集落活動に非協力的な人が実際に入居してきている。）                | 1人 |

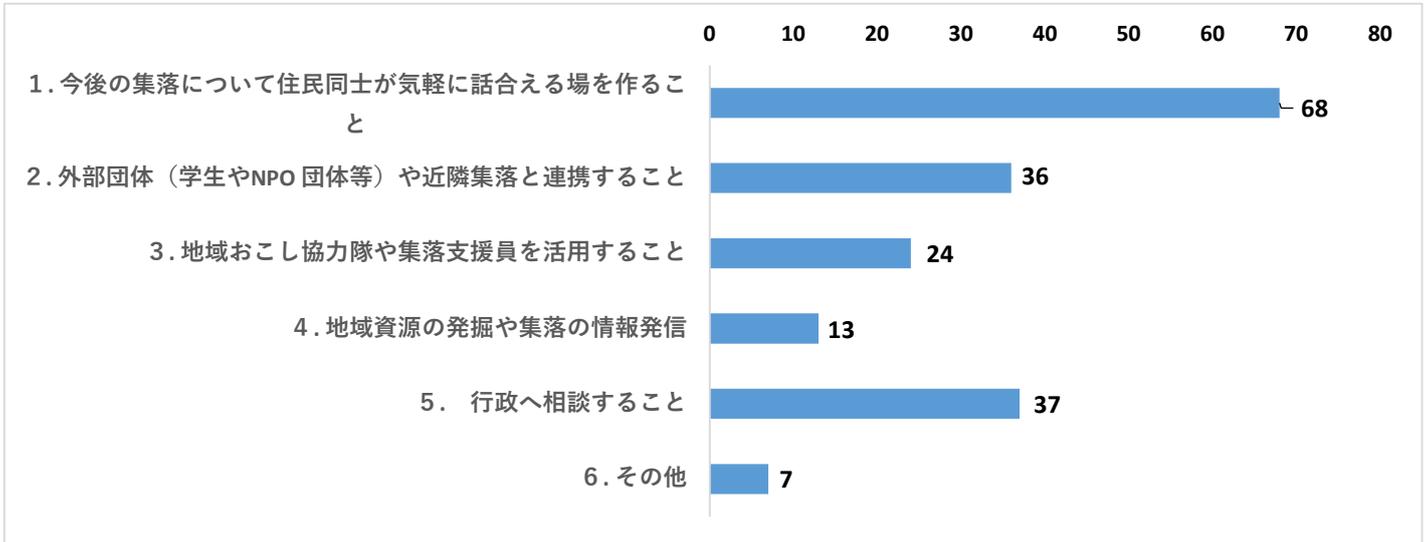
問5 今後貴集落（自治区）を維持・活性化していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【回答数 111人】

今後の集落維持のために必要なこととして、「今後の集落について住民同士が気軽に話合える場を作ること」との回答が68件で最も多く、次いで「行政へ相談すること」、「外部団体や近隣集落と連携すること」と続いた。

一方、地域おこし協力や集落支援員の活用との回答が24件となり、今後集落単位での自主的な地域活動の促進を図るうえでも、全地域的にこれらの制度及び活動内容の周知を図ることが必要であると考えられる。

1. 今後の集落について住民同士が気軽に話合える場を作ること
2. 外部団体（学生やNPO 団体等）や近隣集落と連携すること
3. 地域おこし協力隊や集落支援員を活用すること
4. 地域資源の発掘や集落の情報発信
5. 行政へ相談すること
6. その他（ ）

単位：人



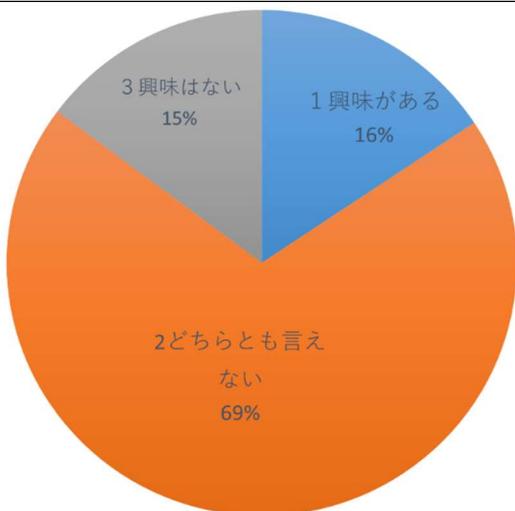
6. その他の主な回答内容

役場の努力、若い世代の定着や移住、空き家対策、一人暮らしの人への援助 など

問6 福島県では、大学生等の外部サポーターを受け入れて集落活性化を図る「大学生と集落の協働による地域活性化事業」を実施していますが、貴集落（自治区）では、大学生の受け入れについて、興味がありますか。いずれかに○を付けてください。

【回答数 115人】

大学生との連携による当該事業を活用した集落活性化に興味があると回答したのは 16%となっている。一方、69%がどちらともいえないと回答しているため、事業周知を図ることが必要なる。



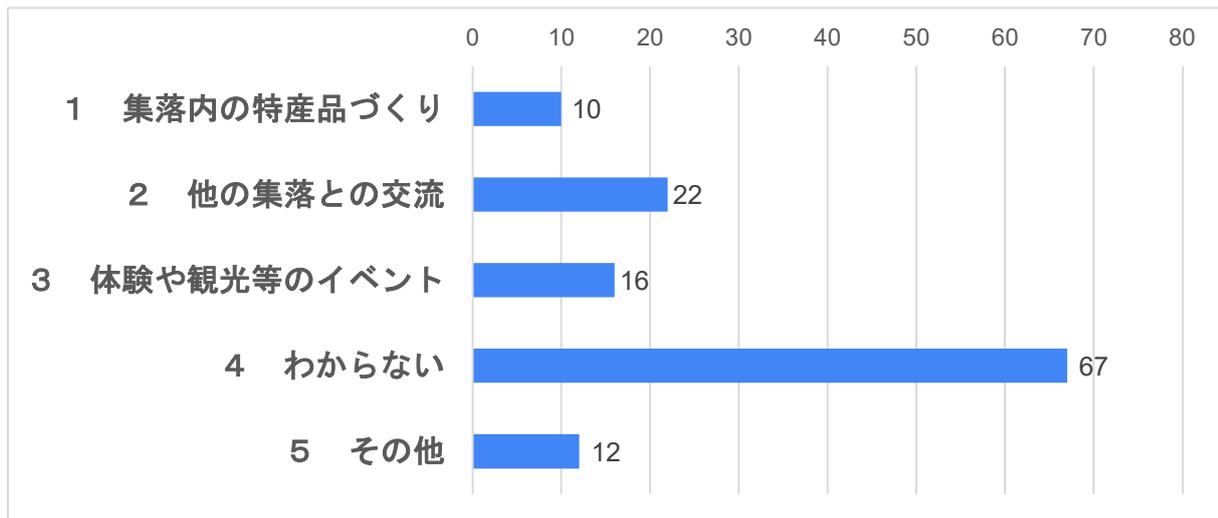
|           |     |
|-----------|-----|
| 興味がある     | 18人 |
| どちらともいえない | 80人 |
| 興味はない     | 17人 |

問7 今後貴集落においてどのような地域活動に取り組んでみたいですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください 【回答数 115人】

各集落において取り組みたいと思う地域活動は、67人が「わからない」と回答し最多となっている。集落支援員等を活用し、今後の集落について住民同士が話す場や、目指すべき集落の将来像を踏まえた地域活動の内容や実勢方法を支援する取組が必要となる。

1. 集落内の特産品づくり 2. 他の集落との交流 3. 体験や観光等のイベント  
 4. わからない 5. その他

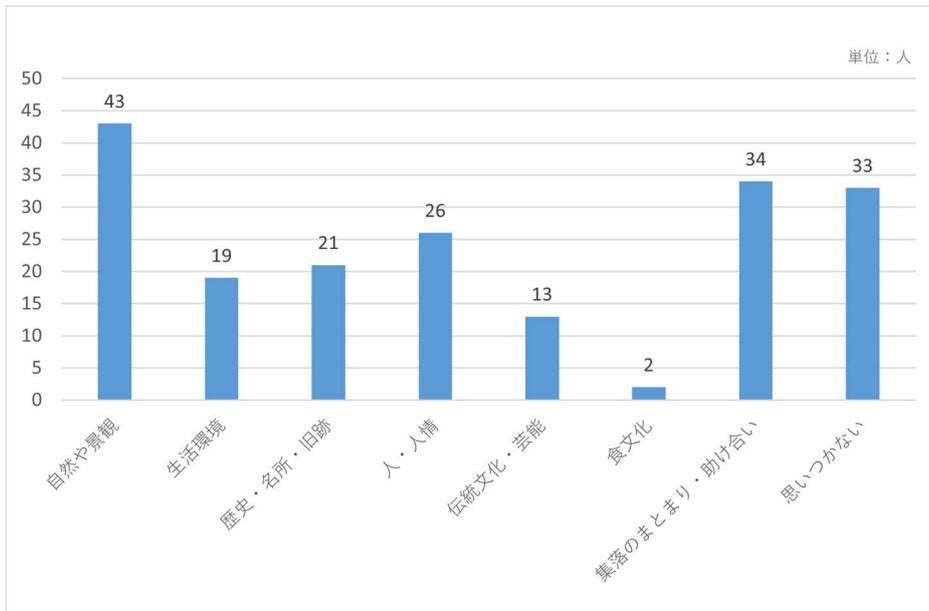
単位：人



問8 貴集落が持つ魅力や他の地域に誇れることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 【回答数 112人】

自然や景観と回答した人数が43人となり最多となっている。一方で、「思いつかない」と回答した人数が33人となっている。

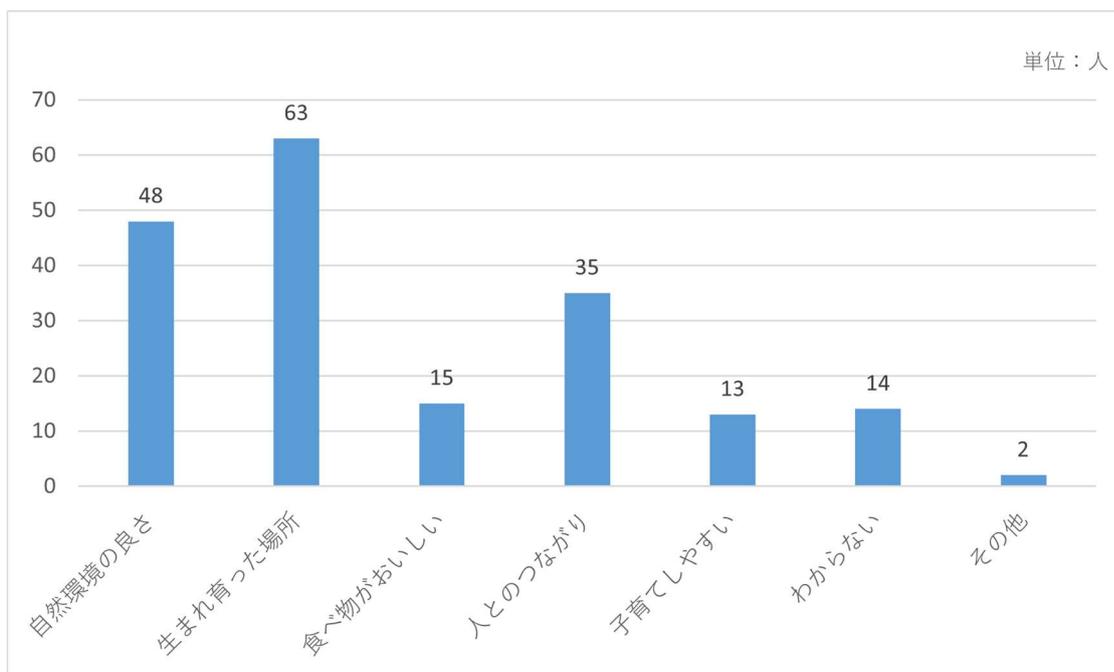
1. 自然や景観
2. 生活環境
3. 歴史・名所・旧跡
4. 人・人情
5. 伝統文化・芸能
6. 食文化
7. 集落のまとまり
8. その他 ( )
9. 思いつかない



問9 貴集落に住んでよかったと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【回答数 113人】

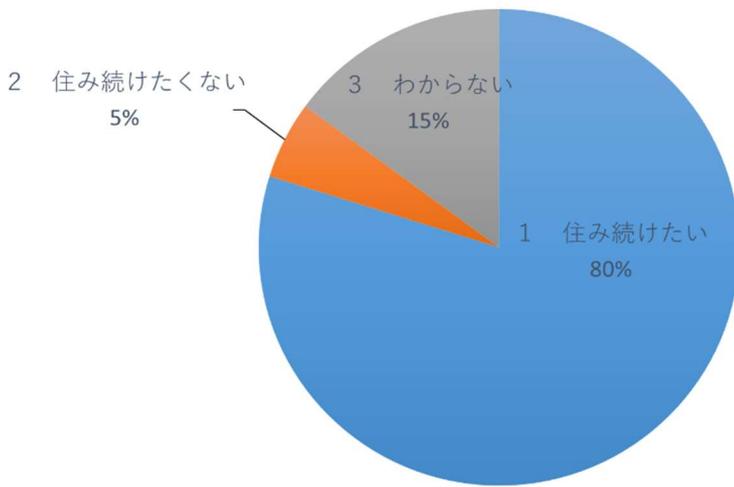
63人が「生まれ育った場所」と回答しており最多となっている。次いで、「自然環境の良さ」、「人とのつながり」となっている。一方、子育てしやすいと回答したのは13人で、その他を除く項目の中では最も少なくなっている。

1. 自然環境の良さ 2. 生まれ育った場所 3. 食べ物がおいしい 4. 人とのつながり  
5. 子育てしやすい 6. わからない 7. その他 ( )



問10 これからも貴集落に住み続けたいですか。【回答数 114人】

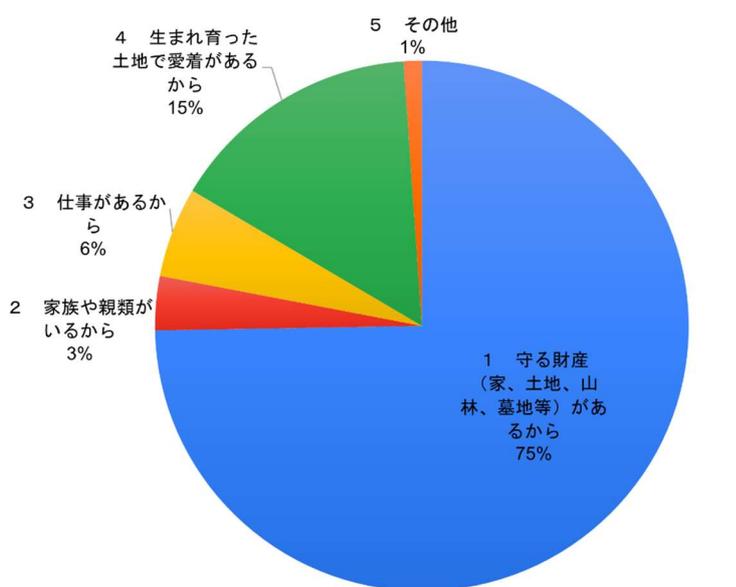
全体の80%が、「集落に住み続けたい」と回答している。そのうち75%「守る財産（家、土地、山林、墓地等）がある」ことを理由に挙げている。



|            |     |
|------------|-----|
| 1 住み続けたい   | 91人 |
| 2 住み続けたくない | 6人  |
| 3 わからない    | 17人 |

問10-1 「1.住み続けたい」と回答した場合、その理由は何ですか。いずれかに○をつけてください。

1. 守る財産（家、土地、山林、墓地等）があるから
2. 家族や親類がいるから
3. 仕事があるから
4. 生まれ育った土地で愛着があるから
5. その他（ ）



|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1 守る財産（家、土地、山林、墓地等）があるから | 68人 |
| 2 家族や親類がいるから             | 3人  |
| 3 仕事があるから                | 5人  |
| 4 生まれ育った土地で愛着があるから       | 14人 |
| 5 その他                    | 1人  |

問 1 1 自由意見（集落の課題や町（行政）への要望等をご記入ください。）

|  |
|--|
| 消雪道路の修繕  |
| 老人ひとり暮らしの対応・明神ヶ岳の山開き   |
| 高齢化が進みすぎ、いろんなもの、事の維持が難しい   |
| 耕作放棄地の解消に少しずつ取り組んでいるが所有権など法的な問題や費用の捻出にも苦慮しており、個々人や地区の力だけでは解決できないことが多い。その課題解決に様々な知恵や知識、手法等の支援が欲しいと思います。   |
| アメシロ散布の時にシルバーを利用出来なくなったのは困っています。   |
| 本郷地区の中でも、昔から変わってない地域は、(集落独自の行事等) 比較的集落での集まりがあると思うので、コミュニケーションが取れると思います。新興住宅地では、中々コミュニケーションが取れず四苦八苦しております。ですから、内堰清掃や、クリーン作戦の時等を利用して努めて会話をする様にしています。その時苦情や、要望を聞き対応するように努めたいとおもいます。宜しくお願いします。 |
| 県道 330 号が新しくなり、宮川沿の河川敷道路交差点と集落内道路の交差点が非常に危険な状態です。重大事故が起こる前に対策が必要です。  |
| 集会所存続のための問題が多い（老朽化して修理費がかかる。大家が高齢になりいつまで借りることができるか心配）地域内の子供が少なく、活力が乏しい。役場職員がもっと町内に姿を見せてほしい。庁舎の中で何をしているのかまったくわからない。   |
| 空き家が 1 軒あります。 今後どうしたらよいかわかりません。  |
| 40、50代が集落の行事に無関心だと感じる。   |
| 若者が働ける企業の誘致  |
| 町内地区と山間地区との違いがあり問が難しいところがあった   |
| 若者が地区を出て行き、高齢化が進んできている。若い人たちが地区に残れるよう働く場所をつくってほしい。   |
| 地区の少子化が加速度的に進むなか、地区施設（神社仏閣）の維持管理が金銭面的に容易でない。   |
| 安全の為にカーブミラー設置 街頭の増設 除雪の仕方（1回通過では除雪にならない）   |
| 人口減少は切実な課題です。子育てしやすい地域づくりに向けての施策が必要かと思えます。   |
| 少子高齢化により区役員などのなり手がなく、他区との統合などの対策を町として計画画策の案を示し、町の行政に生かして町の人口増加を。   |
| とにかく新鶴地区としては、スマートインターができたのに地域全体の活性化が何一つない。コンビニ 1 つない。美里町となっても高田が良い思いをしているだけ。高田の赤字を新鶴がうめただけでしょう？何が美里町ですか？高田地区以外は疑問ですよ。そして子供たちへの対応が悪すぎる。   |
| 集落内の道路の舗装工事をお願いしたい。  |
| 大門地区の人口減少を止めたい   |
| 空き家に対する行政指導の強化（何年もの間全然空き家を訪問していない。草木の放置により近所の方が迷惑している。）  |
| 若い人が部落から離れてしまう。そして町も人口減少ではいなか。人口を増やすには。  |
| 管理されていない廃屋が多く、行政の方から所有者に対して勧告していただきたく思います。（役場の方との話し合いが必要です。）   |

|  |
|--|
| 地域のつながりが希薄になっていると感じています。現状を考えると無理もないと感じているところです。全体的な問題と感じます。   |
| 早婚化への取り組み、子育て支援、多産支援など、日本一子作り子育てのし易い街になって子供が増えてほしい。  |
| 空き家対策 集会所の老朽化  |
| 将来の生活を考えると、美里町を出て子の住む近所（都会）へ引っ越す予定。いずれ、ぽつんと一軒家になりそうなので。美里町は消滅する運命。終わりに向かってたたむ準備をする方が無難だと思う。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区に集会所がなく、また、予算の関係で新設することも難しい現状です。かつては中央公民館を借りて集会・会合を行っていましたが、現在は取り壊されてできません。じげんプラザまでは距離があるため、特に高齢者やひとりぐらしの多い当区では利用がしにくい状況です。公民館跡地に集会等ができる施設があればいいなあという意見が区民の中から出ています。</li> <li>・防犯灯を新設したい場所がありますが、資金がないために実現できません。LED 交換補助費とは別に新設のための経費の補助ができないかという意見もありました。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に小公園があるが、遊具のメンテナンスや安全チェックを地区費用にまかされているので町の負担金がほしいです。</li> <li>・一人暮らしの高齢者に対する関わり方が難しくなっている。声かけ、見守りはできてもプライバシーまでは入ることはできないのでどこまで援助していいかわからない。</li> </ul>   |
| 放棄地の木々が荒れ放題になっている。（草刈り、木々の枝切りなどの手入れをしてほしい。）  |
| 皆が集う唯一の集会所の老朽化が酷く、区(連合区)だけではとても改修費用を賄うことができません。町の補助をお願いします。又、県道の傷みが酷く一部融雪装置の水の出が悪く毎冬困っています。県への強い働きかけをお願いします。   |
| 観音地区とじげんプラザを往復するマイクロバスのシャトル便を作ったらどうだろうか。定額料金でどこでも乗り降りでき、1時間2本程度。昭和村からの高校生も利用できるだろうし永井野以南の住民サービスにも寄与できると思う。過疎化対策にもなるかと思うし60代の運転士にすれば安く且つ雇用にも効果がある。  |
| 現在はまだ良いが高齢化が進むと部落での作業等に支障が出る。5～10年後後継者不足が深刻である。  |
| 集落の課題・高齢化が進み、人員減少で共同作業の負担が増える・道の駅等の施設要望・住民が安全・安心して買い物ができる憩いの場所。住民や観光客など利用することで地域の活性化を図る。   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゴミステーション突然に捨てられて残される大量の事業系のようなゴミ 連絡によって役場で対応をお願いしたい。</li> <li>2 集会所修繕だけでなく新設についても助成をお願いしたい。</li> </ol>  |
| 空き家 耕作放棄地 クマ イノシシ など朱楽だけでは対策しきれない課題も多い。集落を超えた地域間での調整について町は相談に乗ってほしい  |
| 長雨や強雨が続いた場合、災害時に弱い集落のため、砂防ダムを多く造ってもらいたい。   |
| 高齢者世帯が増え、協同作業などが人数不足により困難になっている。後継者が少数となっており、今後ますます空家が増えると思われる。  |
| 空家対策についての対応を教えてください。   |
| いろいろな意見をくみ取るためにアンケートを実施することは良いと思う。   |
| 集落内の道路の補修  |

|   |
|---|
| <p>ほとんどが高齢者世帯で、声かけても集まる人が少ない。小中高生がほとんどいない。買い物する場所が町内では少なく、かつ歩行では遠く車がないと不便でこの先のことを考えると心配。とにかく足腰が弱ると生活困難になる。</p>  |
| <p>旧本郷小学校跡地の整備が中途半端に思えますので、草刈りや土地の改良を考えてから最も良い方法を考えてほしいです。もっと区画整理（ドッグラン、球技場、遊歩道、公園等）をして花壇を作るなどしてもっと交流ができるスペースにしてほしい。盆踊りを実施してほしい。現在は駐車場がなくせまく集合しにくい。</p>   |
| <p>高齢者が増えてきている。これからの数年間は今までと同様、元気に活動できるだろうが、その後は難しくなると思われる。不在になって何年も経過した空き家があり、破損してきている。家屋の対処が必要。</p>   |
| <p>町民運動会を10月下旬～11月下旬に変更願いたい。昨年、年配者が「観戦・応援しに行きたいけど熱中症になりそうだから行かなかった。」と言われたので気候の良い時期にお願いしたい。<br/>健康維持のためにウォーキングをしていると高齢者の買い物、散歩で安全に歩けるドウロマップなどを警察と連携して作ってもらうことを要望する。<br/>休んでる畑を週末家庭菜園をしたい方に貸し出して所有者と近くのシルバー世代が手伝い協力しながら「交流の場」にする考え方を要望する。美里町の美味しい食べ物を飲食店と料理専門家が考え出して、ごはん、蕎麦、ラーメン、パンに合わせたあたらしいタイプの料理を考え出して（例 美里カレー）各店舗に提案をして町の活性化を進めるグループの創設を要望する。</p> |
| <p>地区に独身がたくさんいて、子供も少ない。しかし、移住してきた人が子供をつれてきたので、少し子供の数が増えたように思えます。一人暮らしの家も増えているのが問題です。</p>  |
| <p>基礎整備から50年もたっている。農業用水路も寿命がきている。地域計画には無理があると思う。</p>  |
| <p>地域活動に若い方の出席が少ない。</p>   |